



内田えつし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

浦安市集
特

知事「住民サービスに十分考慮」

東葛飾地域の合併想定で

護岸の水漏れ対策を要望

2月県議会

一般質問から



本会議場で一般質問を行う内田県議

浦安市選出で、一期目ながら議会内でも政策通ぶりを発揮している内田悦嗣(うちだ・えつし)県議は、昨年十二月に続いて、二月県議会でも一般質問と予算委員会の双方で登壇し、地元の課題などを県にぶつけました。一般質問では、主に地域の課題を取り上げ、堀江ドック周辺の護岸からの水漏れ問題などで早急な改善を要望。予算委員会では、急激な景気低迷に伴う、企業庁の土地分譲収入見通しの誤差などをいただきました。主な質疑を1、2面で特集します。

内田議員 堀江ドック周辺の護岸と道路の継ぎ目から水が出ている現状について、県はどのように把握しているのか。

県土整備部長 旧江戸川の堀江ドック上流側で、降雨の後や潮の影響を受け河川の水位が高いたまなどに、地域住民の方からの情報により、堤防背後の護岸と道路の継ぎ目から水が出て

るのを確認しています。

内田議員 これまでの調査で、原因としては何か。

県土整備部長 昨年度新たに二カ所の観測井戸を設置して、地下水位観測を行い、その結果、堤防管理

用通路からの雨水の浸透、または堀江ドック付近の堤防継ぎ目からの河川水の浸透が疑われたところです。

このため、今年度、管理用通路に排水施設を設置し、さらに応急対策として堤防の目地の補修をしたところ

です。

今後、これらの効果を見ながら、原因の特定を行い、

出先機関の配置に配慮

内田議員 東葛飾・葛南地域で合併により、政令市に移行した場合、合併しなかった周辺市町村に対し、

県民サービスの低下を防ぐ方策をどのように取っていくのか。

堂本知事 同地域では、政令指定都市に向けて、二つの研究会が調査・研究を行っています。今後、これらの地域で合併により政令指定都市の協議を行うこと

になります。その際、県としては、合併しない周辺市町村の住民に対する県民

サービスを十分考慮しな

内田議員 政令指定都市ができた場合、浦安市に県の出先機関が配置され、行政サービスの低下はないと理解してよいのか。

総務部長 政令指定都市へ移行すること及びその時期が明らかになった際には、浦安市における県民サービスの低下がないように十分配慮しながら、具体的な出先機関の配置などを検討することになります。

内田えつし県議プロフィール

○経歴○

- 昭和40年 浦安市(当時町) 堀江生まれ
- 昭和63年 浦安市役所入庁 (在職14年4カ月)
- 平成15年 浦安市議会議員当選
- 平成19年 千葉県議会議員当選

○現職○

- 県議会 議会運営委員会委員 文教常任委員会委員
- 自民党県連 政務調査会審議委員 青年局青年部常任幹事 広報本部委員

幸せふくらむ 明るいまちへ

県政や浦安市のご相談はお気軽にどうぞ

内田えつし 県事務所 〒279-0041 浦安市堀江3-22-1 TEL.047-351-6030

企業庁 新経営戦略プラン見直し求め



予算委員会で資料を手に質問する内田委員

景気悪化で 収支見通しに誤差

内田委員 土地造成整備事業特別会計について、土地分譲貸付収入は、長期収支見通しと平成二十年度二月補正予算及び二十一年度当初予算との差異は、それぞれどれくらいあるのか。

企業庁財務課長 二十年度の土地分譲貸付収入は、二月補正で三百五十八億円を計上したところであり、長期見通しに比べて、約二十五億円の減収となっています。また、二十一年度当初予算では、二百三十九億円を計上して、約十三億円の差異は約十三億円となっています。

基盤整備の遅れを指摘

内田委員 代表質問の中で、景気低迷の中、投資的経費の節減に努めるという趣旨の答弁があったが、基盤整備が遅れることについて、地元市町村の理解は得られるのか。

企業庁事業管理課長 現在、投資的経費の見直しを進めています。その主たる目的は、概算事業費に基づき積み上げている投資的経費について、整備手法やコストなどの洗い直しを行い、よりの確な見込み額にしようとするものです。



予算委員会の全景

内田委員 事業収束後の後継組織に關しての検討はどうなっているのか。

行政監察監 現在、千葉ニュータウン事業との収束時期の關係を含め、後継組織への移行に關する諸課題について、部局横断的に検討しているところです。

浦安ダイスキ！肉田えつし 浦安ダイスキ！肉田えつし 浦安ダイスキ！肉田えつし

二月県議会では、議員が自ら議案を作成し、議会に提案して制定する議員発議による条例制定案が、賛成多数で可決されました。内田悦嗣県議はこの条例案づくりで中心的な役割を果たしました。県議会での議員発議による条例制定は、七年二カ月ぶり、二度目という異例の出来事でした。

議員発議で 条例案を可決

この議員発議による条例案が、圧倒的な賛成多数で可決・成立したことは、行政側に対してだけでなく、県民に対しても、千葉県議会の意思を明確に示したことになります。

二月県議会では、議員が自ら議案を作成し、議会に提案して制定する議員発議による条例制定案が、賛成多数で可決されました。内田悦嗣県議はこの条例案づくりで中心的な役割を果たしました。県議会での議員発議による条例制定は、七年二カ月ぶり、二度目という異例の出来事でした。

NPO関連事業の統合整理

内田委員 NPO関連の主要事業について、事業手法も含め統合整理する必要があるのではないかと。NPO活動推進課長 県としては、これまで例えはNPOと企業が連携して地域の課題解決に取り組むきっかけづくりを目的とした「NPOと企業との連携」事業と、自分の持っている物品や資金などで、賛同する